

2018 年医療講演会報告

10 月 14 日（日）午後、上大岡のウィリング横浜において のぞみ会神奈川支部の医療講演会が開催されました。

役員を含めると 116 名の参加となり、タイトル「変形性股関節症に対する全身からとらえた運動療法」から運動療法に対する関心の高さと、「股関節リハビリのレジェンド」とも言える理学療法士の湯田先生に対する期待の大きさが伺われました。

海老名総合病院リハビリテーション科 科長の湯田健二先生には、今までののぞみ会神奈川支部の交流会で 2 度講師をお願いして大好評でした。

先生ご自身の実演交えての説明や、会場の参加者をモデルにしての説明は大変分かりやすかったという声が多く聞かれました。

股関節は身体の要であり全身と連動しているのです、頭の位置を変えるだけで身体が安定して力が入り、楽に動けるようになることなど「身体の使い方」の重要性を学びました。

今までリハビリ＝筋トレと思っていた方には目からウロコの新鮮な内容だったのではないのでしょうか。

先生のユーモラスでテンポの良い語り口であつと言う間の 2 時間でした。

当日の詳しい講演内容は 2019 年 5 月発行の会報に可能な限り掲載致しますが、当日の講演を DVD に記録し貸し出しますので是非ご利用ください。（会員のみ）

現在、先生は後輩の理学療法士たちのために全国を飛び回って講演、指導にあたり、本も執筆なさっているという大変お忙しい身ですが、そのような先生に神奈川支部の年間行事としては最大のイベントである医療講演会でご講演頂けたことは本当に有り難いことでした。

